祝　辞

（鳥取県らしい特色のある地域づくりや中山間地域の振興に取り組む）

鳥取県議会議長　　内　田　博　長

本日ここに「鳥取県町村会創立１００周年記念式典」が挙行されるにあたりまして、鳥取県議会を代表して、一言御挨拶を申し上げます。

御案内のように、鳥取県町村会は大正９年（１９２０年）の創立から、県内町村の抱える課題解決や郷土の発展のために一丸となって邁進される中、令和２年（２０２０年）にめでたく１００周年を迎え、本日このように盛大な式典が開催されますことは、誠に御同慶の至りであります。これもひとえに、歴代の町村長をはじめとする関係者の皆様のたゆまぬ努力の賜物であり、心から敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。

さて、過去に思いを馳せると、鳥取県町村会が誕生した当時は、第一次世界大戦末期に始まったスペイン風邪が、世界人口の約４分の１に相当する５億人に感染するなど、世界中で大流行していました。そこから１００年の時を経た現代において、奇しくも新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、それぞれの町村で、住民の命と健康を守りながらコロナ禍で疲弊した地域経済と日常生活を取り戻すべく、対策に取り組んでおられることと思います。

また、人口減少・少子高齢化の大きなうねりや頻発・激甚化する自然災害など、地域社会を取り巻く環境は一層厳しさを増しており、住民に最も身近な町村におかれては、こうした環境の変化や政策課題に対してより迅速かつ的確に対応し、安心安全な住民生活を確保していく役割がこれまでにも増して期待されております。

現在、岸田内閣においては「デジタル田園都市国家構想」の実現に向けた議論が進められており、平井知事も全国知事会の会長として参画されていますが、今後、最新のデジタル技術を活用して中山間地域の振興や地域課題の解決をどのように図っていくのかという点においても、それぞれの町村の創意工夫が求められるところでございます。

来るべき新しい１００年に向けて、我々、鳥取県議会としても、町村に暮らす皆様が誇りをもって安心して生活を営み、美しい郷土を次の世代に引き継いでいけるよう、関係者の皆様と一致団結して、鳥取県らしい特色のある地域づくりや中山間地域の振興に取り組んでまいりますので、皆様におかれましても、引き続き、その卓越した識見と豊富な経験を存分に発揮され、地域の発展に大

いに貢献していただきますよう、改めてお願い申し上げます。

　結びに、鳥取県町村会の今後ますますの御発展と御参集の皆様方の御健勝・御活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。